



安全衛生

あれこれ

33

増田労働衛生コンサルタント事務所

所長 増田稔久

9月1日は防災の日、防災週間が始まります

するリスクアセスメントと対策が適切」と助言したところ
です。

さて、9月1日はその「防災の日」で、この日から1週間を「防災週間」としています。防災の日が定められたのは昭和35年です。その前年の「伊勢湾台風」の被害を契機とし、「関東大震災」の発生した9月1日を防災の日と閣議決定されました。
当地を襲った伊勢湾台風を

振り返ると、昭和34（1959）年9月26日戦後最大級の被害（全半壊・流失家屋約15万戸、浸水家屋約36万戸、死者約5000人）をもたらし、今年、被災後63年になりました。当時、私は小学2年生でした。台風後、学校（名古屋市中区）に被災地の多くの方が避難されたことを覚えています。また、台風の翌日、瓦礫で足の腿を切ったのです。今も幅1センチ長さ12センチのキズ跡が残ってい

ます。苦い思い出です。防災の日の対象となる「災害」は、もっぱら自然災害で、私たちが懸念するのは「南海トラフ地震」（別掲1）です。最大震度7の大地震が30年以内に70〜80%の確率で起きると言われ、想定される死者数約32万人との記事もあります。私たちとしては、出来得る減災と防止対策に努めるべきでしょう。

以前、名古屋大学減災連携センターの福和教授の講演を聞いたことがあります。先生は「冷蔵庫に転倒防止をしていますか？」と会場の聴衆に問い掛けました。私も含めて答えに窮した方が多かったのですが、その後、写真（別掲2）のとおり一応の対策を講じました。他の家具等も同様です。皆様の事務所やご自宅はいかがでしょうか？
防災週間中には、職場や家庭で様々なリスクや対策を語り合いたいものです。

【巨大地震のリスク】

南海トラフ地震については、マグニチュード8〜9クラスの地震の30年以内の発生確率が70〜80%（2020年1月24日時点）とされている。また、地震調査委員会は、南海トラフでは過去1400年間に約90〜150年の間隔で大地震が発生していることから、次の地震までの間隔を88.2年と予測している。1944年の昭和東南海地震や1946年の昭和南海地震が発生してから、2020年は約75年を経過しており、南海トラフにおける大地震発生の可能性が高まっている。

（国土交通白書2020年版から引用）



（別掲1）内閣府ホームページから引用



（別掲2）冷蔵庫の転倒防止の例

